

# はじめに

- 本資料は、公募要領の抜粋となります。
- 詳細につきましては、公募要領(革新的がん医療  
実用化研究事業 令和2年度 三次公募)を**必ず**  
ご確認ください。

[https://www.amed.go.jp/koubo/15/01/1501B\\_00004.html](https://www.amed.go.jp/koubo/15/01/1501B_00004.html)

- スライドの左肩に(**参考**)とあります資料は、公募趣旨を理解する上での参考資料です。



国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

## 革新的がん医療実用化研究事業

# 公募概要説明

# サポート機関の設置について

- ・ 本事業内には、独自のサポート機関が設置されており、各課題は支援を受けながら研究開発を推進していくことが前提となります。
- ・ 研究代表者には進捗管理システムへの研究情報の入力等を行っていただきます。
- ・ 必要な情報として、研究開発計画書、全体計画書などをサポート機関と共有し進捗管理に活用させていただきます。

	支援内容
サポート機関	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 進捗管理システム（研究進捗のための情報整理）</li><li>・ データマイニングシステム （国際的な研究動向把握のための情報整理）</li><li>・ 研究情報マッピングシステム （異分野融合を促進するための情報整理）</li><li>・ 知的財産コンサルテーション</li><li>・ 研究倫理コンサルテーション</li><li>・ その他</li></ul>

# 公募研究開発課題の概要(領域1)



公募要領 P.10

領域番号	公募研究開発課題	研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発実施 予定期間	新規採択 課題予定数
(領域1)がんの本態解明に関する研究				
1-6	全ゲノム情報等を用いたがんゲノム医療への活用に関する研究	1 課題当たり年間、 上限 40,000千円	原則 3 年 令和2~4年度	0~1 課題程度

- 研究開発費の規模等はおおよその目安となります。
- 研究開発費の規模及び新規採択課題予定数等は、予算の状況等により変動することがあります。
- 複数の公募研究開発課題への応募は認められますが、研究費の不合理な重複及び過度の集中(詳細はV. 9. (5)項を参照してください)に該当しないことを示すため、同時に応募した研究開発課題の情報を研究開発提案書の該当欄へ必ず記載してください。

# 研究開発提案書類の提出



公募要領 P.10～, 他

応募には以下の書類を提出してください。  
研究開発提案書類の提出は、e-Radにて、お願いします。

領域の誤選択にご注意してください。  
提案書に選択領域を記載下さい。

## ○ 必須

- ① 研究開発提案書※(様式指定:様式1)
- ② 研究開発提案書要約※(①研究開発提案書に含まれています、英文・和文の両方が必須)
- ③ ロードマップ※

※ 令和2年度「革新的がん医療実用化研究事業」に係る公募(三次公募)ウェブサイトから雛形をダウンロードしてください。

## ○ 該当者のみ

- (a) 臨床試験実施計画書又はプロトコールコンセプト(様式自由) (**指定領域のみ必須**)
  - (b) PMDAの事前面談・対面助言の記録等(様式自由;アカデミア側作成の要旨で可)
  - (c) 動物実験等に関する基本指針に対する自己点検・評価結果の写し(様式自由)
- (公募要領 P.8; III. 2. (3)項参照)



研究開発提案書類(PDF化したもの)の提出は、e-Radにて、お願いします。

## 登録上の主な注意点

- ① **提出期限(令和2年10月22日 正午)の厳守を。** 提出期限内での提出が未完了の場合は応募は受理しません。余裕を持つての登録をお願い致します。
- ② **書類の提出先をお間違いなく。** 公募ごとに登録の入り口が異なります。公募研究開発課題名・領域番号を確認して下さい。
- ③ **提出書類のご確認を。** 【必須】と表示されているファイルをアップロードしないと登録が完了できません。
- ④ **ご所属機関の事務担当者様に早めのご連絡を。** 研究者による登録後に、**研究機関の承認が必要**です。  
⇒ 〆切までに『**応募中/申請中/配分機関処理中**』になっていることが必要です。  
(e-Rad上の画面で確認ができます。)

- ※
- ・ (革新がん事業) e-Radの操作のポイント(革新がん事業 令和2年度三次公募 ウェブサイトよりダウンロード)をご覧ください。
  - ・ e-Rad操作方法に関するマニュアルは、e-Radポータルサイト(<https://www.e-rad.go.jp/>)から参照又はダウンロードすることができます。
  - ・ システムの操作方法に関する問合せは、e-Radポータルサイトのヘルプデスクへ。

Tel: 0570-066-877(ナビダイヤル)、受付時間 9:00～18:00(平日)

## 研究開発提案書の変更および注意点 (その1 分担研究機関の情報と経費内訳)

(様式1)

日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業  
三次公募 開発提案書

記載要領: p1

研究開発課題名 (英語表記)	〇〇に関する研究開発 ( Study of 〇〇 )		
公募名 領域番号 (事業名)	公募要領P7～の III. 1. 公募研究開発課題の概要表から選択して記入してください。 (例) 希少がんの標準的治療法の開発に関する臨床研究		
研究開発期間	公募要領(p7～)より、応募する領域の 公募名、領域番号を記載してください。 ( 3年間 )		
e-Rad 研究分野(主) キーワード	〇△□、〇□△ e-Radにおける研究分野(主)の「キーワード」を記入		
研究開発代表者 氏名	(フリガナ)	〇〇〇〇 〇〇〇	
	(漢字等)	〇△ 〇□ Yyyy Yyyyyy	
所属研究機関	〇〇〇〇大学		
住所	〒 XXX-XXXX		
電話番号	XY-XXXX-XXXX	F A X	XY-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	全ての分担研究者について、記載してください。		
研究開発分担者 氏名*	(フリガナ)	〇〇〇〇 〇〇〇	
	(漢字等)	□□ 〇〇 Zzzz Zzzzz	
所属研究機関	△□大学		
住所	〒 XXX-XXXX		
電話番号	XY-XXXX-XXXX	F A X	XY-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	〇〇 〇〇	経理担当部 局名・連絡先	△□大学管理課〇〇課 電話番号: FAX番号: E-mailアドレス:

※ 研究開発分担者等は全ての分担者について記載してください。また、人数に応じて適宜記載欄を追加してください。

記載要領: p2

各年度別経費内訳

- ・全研究機関(研究開発代表者の所属機関および研究開発分担者の所属する機関)の研究開発費の内訳を記入してください。
- ・間接経費割合(%)と係る各年度の間接経費額を円単位まで計算し、千円単位で記入してください。  
\*注意\* 予算額を入力する際は千円単位となります。正確な経費の積算をしている場合、提案書の金額の下3桁を切り捨てた金額を入力してください。(例:直接経費 4,615,385円 ⇒ 4,615千円)
- ・間接経費は直接経費の30%以下としてください。

(1) 各年度別経費内訳

(単位:千円)

大項目	中項目	R2年度	R3年度	R4年度	計
直 接	1. 物品費				
	設備備品費	5,000	0	0	5,000
	消耗品費	800	4,000	4,000	8,800
接	2. 旅費	200	200	200	600
	雑費		2,800	2,800	6,600
	その他		0	0	0
	小計	8,000	8,000	8,000	24,000
間接経費 (上記経費の30%目安)		2,400	2,400	2,400	7,200
合計		10,400	10,400	10,400	31,200

直接経費小計は申請する公募領域の  
年間の上限を超えないでください。

(2) 機関別経費（間接経費を含めた金額を記入してください。）

- ・研究機関毎の各年度の合計額を記入してください。
- ・分担機関が4機関以上ある場合は、適宜、本表の行を追加してください

種別	機関名	R2 年度	R3 年度	R4 年度	計
代表機関	〇〇大学	7,800	5,200	5,200	18,200
分担機関 1	△△病院	1,300	2,600	2,600	6,500
分担機関 2	□□センター	1,300	2,600	2,600	6,500
分担機関 3					
研究開発費合計額					

(3) 直接経費の具体的な内訳や使用目的（特に（1）各年度別経費内訳の『4. その他』については詳しく記入してください。）

主な経費について支出計画を具体的にお示してください。

- (例) ・〇〇研究における△△に用いる□□の購入：●●千円  
 ・CRO への外注（モニタリングおよび監査費用）：●●千円

特に『その他』の経費の使用方法を具体的に記入して下さい。

### 記載要領: p4

研究組織（研究開発代表者及び研究開発分担者）

	氏名 生年月日 (年齢:令和2年4月1日時点) 研究者番号	所属研究機関 <sup>※1</sup> 部局 <sup>※1</sup> 職名 <sup>※1</sup>	現在の専門 学位(最終学歴) 学位取得年 役割分担	令和2年度 研究経費 <sup>※2</sup> (千円)	エフ オー ト (%)
研究開発代表者	〇△〇〇 S49/11/11 (XX) 12345678	〇〇〇〇大学 △△△学部△△△学科 △△△	△△△ △△博士(〇〇大学) H14年 △△△	X,XXX	XX
同上		(主たる研究場所) △□大学 △△△学部△△△学科 □□□		X,XXX	XX
研究開発分担者	□□〇〇 S50/11/11 (XX) 98765432	△□大学 △△△学部△△△学科 □□□	□□□ 〇〇博士(□△大学) H15年 □□□□□	X,XXX	XX
同上		(主たる研究場所) △□大学 △△△学部△△△学科 □□□		X,XXX	XX
計	2名		研究開発経費合計	X,XXX	

所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所についても記載してください。

※1 所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所についても記載してください。

※2 研究経費については、直接経費を記載してください。

すべての分担者について記載してください。人数に応じて記載欄を適宜追加してください。

### 2 研究計画・方法

記載要領: p7,8

(1) 要約 (英文・和文) <最後に別添として添付>

(2) 研究計画・方法

<留意事項>

- ① 2. 1 研究概要を1,000字以内で記入してください。
- ② 2. 2 研究開発の内容については研究計画を遂行するための研究体制について、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」及び研究協力者等の具体的な役割を明確にしてください。
- ③ 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入してください。
- ④ 臨床研究においては、基本デザイン、目標症例・試料数及び評価方法を明確に記入してください。
- ⑤ その他、研究開発の主なスケジュール、実施体制図等は、別紙として添付してください。(必須)

2. 1 研究概要 (まとめを1,000文字以内で)

2. 2 研究開発の内容

研究開発項目 (1):

① 研究開発担当者 所属機関・部署・役職・氏名

- 1)
- 2)

② 研究開発の目的及び内容

③ マイルストーン及び研究開発方法

令和2年度:

令和3年度:

令和4年度:

令和5年度以降

「2 研究計画・方法」-「2. 2 研究開発の内容」の研究開発項目およびマイルストーンと「別紙1 研究開発の主なスケジュール」のガントチャートの最左欄の研究開発項目およびマイルストーンは一致させてください。

記載要領: p18

### 研究開発の主なスケジュール

目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※マイルストーン: 達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項。

項目別のスケジュールや担当者が分かるように記載してください。

※1頁以内で記載してください。

#### 研究開発の主なスケジュール

研究開発項目	担当者 氏名	第1年度(R2年度)				第2年度(R3年度)				第3年度(R4年度)									
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q						
※マイルストーン (1) ○○関連遺伝子発現解析 ・アッセイ系の確立 ・発現データ解析				←	→														
(2)																			
(3)																			
(4)																			
(5)																			
(6)																			
(7)																			

ガントチャートの矢印の終点をマイルストーンの設定時期と一致させてください。矢印ではなく、●等の記号を入力しても結構です。

マイルストーンは、「完了」「終了」「確立」など研究開発項目の節目となる到達点・達成事項がわかるように設定ください。

スケジュール表は、提案書の研究期間内だけを記載してください。

## 研究開発提案書の変更および注意点 (その4 研究費の応募・受入状況・エフォート)

記載要領: p12~15

### 4 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

- 研究開発代表者および研究開発分担者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度<sup>※1</sup>やその他の研究助成等 (AMED 資金含む) について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート<sup>※2</sup>等を記入してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
- 本研究開発提案の一部の研究を、別の公的資金制度やその他の研究助成等 (AMED 資金含む) で行う場合には、その内容についても簡潔に記載してください。
- 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。

※1. 制度とは、AMED の他、科学技術振興機構 (JST) や日本学術振興会 (JSPS) などが取り扱う国の競争的資金制度やその他の研究助成を全て対象としています。

※2. 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を 100% とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率 (%) を記入してください。

エフォートについてはその他の活動(診療や教育など)を  
勘案して記載してください。

・ヒアリング審査の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

#### 【研究開発代表者】

##### (1-1) 応募中の研究費 (AMED 研究費)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和2年度の 研究経費 (直接経費) [調査全体の額 (千円)]	エフ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
本公募研究課題 (R2~R4, AMED)	( )	代表	[ ]	( )*	( )*
( )	( )		[ ]	( )*	( )*

AMED研究費とそれ以外の研究費に分けて  
記載して下さい。

( ) \* 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

##### (1-2) 応募中の研究費 (AMED 以外の研究費)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和2年度の 研究経費 (直接経費) [調査全体の額 (千円)]	エフ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
( )	( )		[ ]	( )*	( )*

応募中や受入予定の研究費について、  
本提案との相違点について説明してください。

( ) \* 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

##### (2-1) 現在受け入れている研究費 (AMED 研究費、予定含む)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和2年度の 研究経費 (直接経費) [調査全体の額 (千円)]	エフ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
( )	( )		[ ]	( )*	( )*
( )	( )		[ ]	( )*	( )*

( ) \* 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

##### (2-2) 現在受け入れている研究費 (AMED 以外の研究費、予定含む)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和2年度の 研究経費 (直接経費) [調査全体の額 (千円)]	エフ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
( )	( )		[ ]	( )*	( )*

( ) \* 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

研究分担者についても、研究代表者と同様に  
記載して下さい。

#### 【研究開発分担者】 (必要に応じてコピーして追加してください)

##### (1-1) 応募中の研究費 (AMED 研究費)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和2年度の 研究経費 (直接経費) [調査全体の額 (千円)]	エフ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
( )	( )		[ ]	( )*	( )*

## 研究開発提案書の変更および注意点 (その5 これまで受けた研究費とその成果等、特記事項)

### 5 これまでに受けた研究費とその成果等

記載要領: p16,17

研究費補助等を受けた過去の実績 (過去3年度分)

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

- ・それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が当該行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください。
- ・当該資金制度とそれ以外の研究費は区別して記述してください。

(記載項目)

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～R 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

(記載例)

【AMED 事業】

(1) AMED ○○事業 (A)、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円  
××××の成果を得た。

(2) AMED ○○事業 (B)、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円  
××××の成果を得た。

【それ以外の研究費】

(3) 基盤研究 (B)、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円  
××××の成果を得た。

「5. これまでに受けた研究費とその成果等」には、**過去3年度内に受けた研究費で、本提案の研究に関わるもの**を選定して、AMEDの研究費とそれ以外の研究費を分けて記載してください。

6 特記事項（この項目は、AMEDとして概要を把握するために記載していただくもので、別途公募要領に特記事項として条件が付されない限りは、採否に影響はありません。なお、今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用させていただくとともに、研究開発課題が特定されないかたちで（例：事業やプログラムごとの単位等で）分析結果を公開させていただく場合があります。）

- ① ヒトを対象とした介入研究や観察研究等における、患者・市民参画（PPI: patient and public involvement）の取組（予定を含む）を行っている場合には、その実施方法等について記載して下さい。
- ② 本研究課題を実施するにあたり、患者等の研究への参加、データ取得等を予定している場合には、その予定される人数（概数で可）を記載してください。
- ③ 【事業毎に2.研究計画・方法で記載している項目以外で、研究成果の目安となる数値指標等があれば、記載できるように項目を設定してください。】  
例：本研究で得られたデータについて、データベースへの登録やデータシェアリングを予定している場合には、その概要を記載してください。

① (例)

患者・市民参画の取組：

本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコルを作成するにあたっては、○○の患者団体との対話を通じて、○○に関する患者や家族側の意見を参考にする。

② (例)

○○についての臨床研究に○名が参加予定。

○○の解析に用いるデータ・サンプルについて○名から提供される予定。

③ (例)

本研究で得られた結果について、○○のデータベースに登録予定。

④ (例)

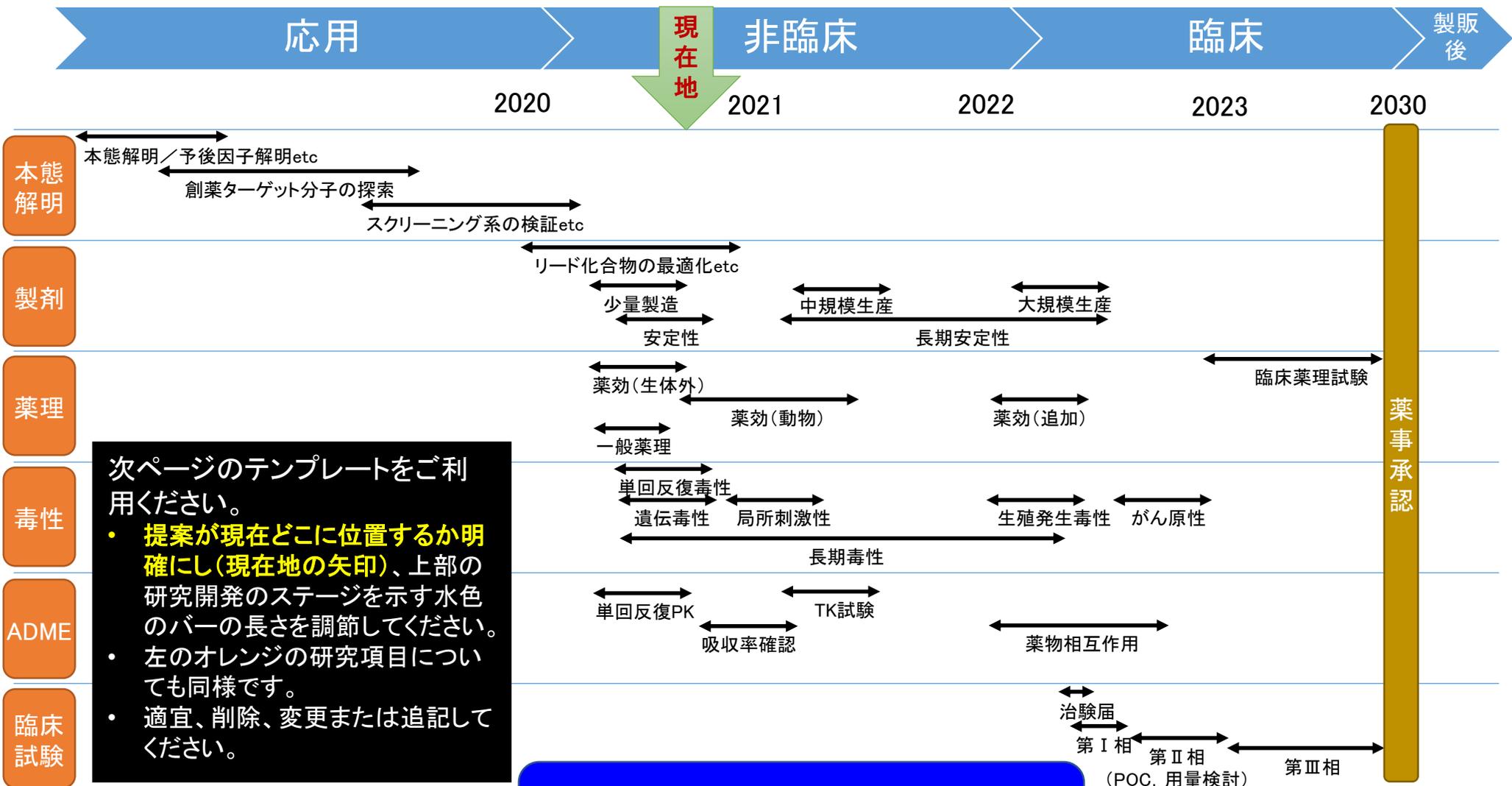
本研究で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。

「6. 特記事項」は、本公募においては評価の対象とはせず、採否に影響はありません。



応用～非臨床～臨床～実用化のロードマップ(イメージ)

研究開発代表者氏名: 英目度 太郎



次ページのテンプレートをご利用ください。

- 提案が現在どこに位置するか明確にし(現在地の矢印)、上部の研究開発のステージを示す水色のバーの長さを調節してください。
- 左のオレンジの研究項目についても同様です。
- 適宜、削除、変更または追記してください。

研究全体のスケジュールの記載を

# 公募～研究開始までの主なスケジュール



公募要領 P.12～

公募期間 (提案書提出期間)	令和2年9月30日(水) <u>～10月22日(木) 正午(厳守)</u>
書面審査	令和2年10月下旬 ～令和2年11月中旬(予定)
ヒアリング (必要に応じて)	令和2年11月中旬(予定) ※ ヒアリングを実施する場合は、対象課題の研究開発代表者に対して、原則としてヒアリングの1週間前までに電子メールにてご連絡します。
採択可否の通知	令和2年11月下旬(予定)
研究開発計画書等提出	令和2年12月上旬(予定)
契約締結 (研究開始時期)	令和2年12月中旬(予定)

## 公募に関するお問合せ

- 下記メールにお問合せ下さい。

日本医療研究開発機構 疾患基礎研究事業部 疾患基礎研究課  
革新的がん医療実用化研究事業 公募担当

[kakushingan@amed.go.jp](mailto:kakushingan@amed.go.jp)



国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

革新的がん医療実用化研究事業

# 公募概要説明

## 領域1



## 公募課題

<領域1-6> 「全ゲノム情報等を用いたがんゲノム医療への活用に関する研究」

### 背景

これまでのゲノム解析研究は、がんや難病の本態解明や効果的な診断治療法などの研究開発の促進に確実に貢献してきたと考えられるものの、全ゲノム解析等の対象が一部のがんや難病に限定されており、大規模な日本人の全ゲノム配列等のデータベースが構築されていないこと、また、アカデミアや民間企業を対象としたデータの二次利活用が進まず、創薬等の産業利用が進まないこと等が課題として指摘されています。

こうした状況を踏まえ、今般、我が国においても、国家戦略として、一人ひとりにおける治療精度を格段に向上させ、治療法のない患者に新たな治療を提供するといったがんや難病等の医療の発展や、個別化医療の推進などを目的として、全ゲノム解析等を推進するため、がんや難病領域の「全ゲノム解析等実行計画(第1版)」が策定されました。

本公募では、上記の背景を踏まえて、全ゲノム配列および臨床情報等の収集と解析に関する研究班と連携して、質の高い臨床情報と全ゲノム情報等を用いて、がんゲノム医療へ活用する手法を開発するための研究を募集します。



## 公募課題

<領域1-6>「全ゲノム情報等を用いたがんゲノム医療への活用に関する研究」

### 公募する研究内容

本公募では、「全ゲノム解析等実行計画(第1版)」の策定された背景を踏まえて、全ゲノム配列および臨床情報等の収集と解析に関する研究班と連携し、質の高い臨床情報と全ゲノム情報等を用いて、がんゲノム医療へ活用する手法を開発するための研究を募集します。

### 求められる成果

研究期間の終了時に、全ゲノム塩基配列データおよび臨床情報等の収集と解析に関する研究班と連携して、がんゲノム医療につなげるためのネオアンチゲンや特異的TCR導入T細胞療法等といった新たな治療法等の手段について成果が得られていることが求められます。

採択にあたっては上記の成果に至るマイルストーンを必ず明示してください。ただし、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。



## 公募課題

<領域1-6>「全ゲノム情報等を用いたがんゲノム医療への活用に関する研究」

### 研究の規模

- 研究開発費の規模**<sup>※1、2</sup> : 1 課題当たり年間、上限 40,000千円(間接経費を含まず)
- 研究開発実施予定期間**<sup>※3</sup> : 原則 3 年<sup>※4</sup> 令和 2年度～令和 4年度
- 新規採択課題予定数** : 0 ～ 1 課題程度

- ※1 研究費の規模等はおおよその目安となります。なお、複数の研究開発課題への応募は認められておりますが、同一の研究内容について重複して公的研究費の支給を受けることはできませんので、同時に応募した研究費につきましては必ず研究開発提案書の「4. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート」に記載してください。
- ※2 各年度の研究費については、研究計画を踏まえて必要な経費を適切に積算して応募してください。研究計画内容、研究費の内訳等に関する評価を踏まえた上で、研究期間、研究費の規模について、研究開発提案書に記載の内容から増減させていただく場合があることについて、留意してください。
- ※3 採択後の研究期間中に進捗が著しく遅延する場合、研究支援が途中で中止になる場合があります。
- ※4 令和4年度における研究開発の状況等を踏まえて、2年度を上限とした必要最小限の研究期間の延長が認められる場合があります。



## 公募課題

＜領域1－6＞「全ゲノム情報等を用いたがんゲノム医療への活用に関する研究」

### 特記事項

- 全ゲノム配列および臨床情報等の収集と解析に関する研究班と連携して、全ゲノム解析等の結果を臨床応用する際のがんゲノム医療につなげるためのネオアンチゲンや特異的TCR導入T細胞療法等といった新たな治療法等の手法について研究することが求められます。
- 「全ゲノム解析等実行計画(第1版)」に基づいて行われる、全ゲノム塩基配列データおよび臨床情報等の収集と解析に関する研究班と連携することを採択条件とします。
- ゲノム情報に基づく、ネオアンチゲンや特異的TCR導入T細胞療法等といった新たな治療法等の開発に結び付くことを採択条件とします。



## 公募課題

<領域1-6> 「全ゲノム情報等を用いたがんゲノム医療への活用に関する研究」

### 提出書類:

- **【必須】研究開発提案書（研究開発提案書要約含む）**
- **【必須】ロードマップ**
- **【必要に応じて】その他書類**
  - 臨床試験実施計画書またはプロトコールコンセプト
  - 動物実験等に関する基本指針に対する自己点検・評価結果の写し(様式自由)